

2013年3月4日・西日本新聞読書芸欄「短信」では

永瀬十悟句集『<sup>はしおぼろ</sup>橋臙—ふくしま記』

作家は1953年福島県生まれ、同県須賀川市在住。東日本大震災が起きた一昨年、第57回角川俳句賞を受賞した「ふくしま」50句を含む大震災後の作品と、それ以前の作品計400余句をコンパクトサイズの句集に収録している。以下は「ふくしま」より。

- ・ 陥没も地割れも花菜道となる
- ・ 蜂笑ふ手に負へぬもの飼ふべからず
- ・ 蜃気楼原発へ行く列に礼
- ・ 燕来て人消える街被曝中
- ・ 流されてもうないはずの橋臙

と紹介されています。